

LPガス

人と地球にスマイルを

No.135

発行所/一般社団法人 鹿児島県LPガス協会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号
☎099-250-2535(代) FAX 099-250-2534
E-mail:soum-kglpg@po.minc.ne.jp
URL:http://www.kglpg.or.jp

発行日/令和6年1月1日
印刷所/株式会社 鹿児島新生社印刷



CONTENTS

- P2 …新年のご挨拶
- P6 …料金アンケート結果について
- P14 …令和5年度国家試験受験者率
- P15 …令和5年度 LPガス消費者世帯等支援事業の実施状況について
- P16 …テールゲートリフター講習の開催について





新年のごあいさつ

一般社団法人 鹿児島県LPガス協会
会長 市田 芳一

新年明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

一昨年5月の通常総会において会長として就任させて頂いて2年目を迎えましたが、会員事業所皆様のご理解とご協力により協会運営も順調に推移しているものと考えており、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナが5類感染症に移行され、それに伴って経済活動も徐々に動き出したことが特筆すべきことだったと思います。今後も決して油断はできませんが適切な感染対策を講じながら失われた経済を取り戻すべく活動を加速したいと考えます。

LPガス業界においては、取引の適正化、料金透明化に向けて大きな動きがありました。国が主体となって流通ワーキンググループが再開され、業界の大きな課題である取引の適正化に向けた動きを加速させました。賃貸集合住宅等へのガス供給権を確保するため過度な設備投資やリベートの提供が料金に反映されているとして、こうした過度な営業行為を法律で規制しようという動きに向かっていきます。また戸建て住宅においては料金体系を3部制にする方向で議論が進みつつあります。

早ければ本年4月に「過度な営業行為」が法律で禁止され、夏場頃から施行される予定です。また3部制料金の導入も2027年度が予定されていますが2025年施行に前倒しして調整が進んでいるようです。

LPガス業界だけに規制をかけて実効性が担保できるのか疑問の声があるのも事実ですが、国土交通省、公正取引委員会、消費者庁も一体となって長く続いてきた悪しき慣習に終止符が打たれることを期待したいと思います。

保安面においては容器の流失防止対策が6月1日に猶予期間が終了します。

ここ数年大雨災害によりLPガス容器が流失し、大きな問題になっていましたのでこの問題を解決するため令和3年12月1日に法律が施行され、既存の供給先には2年6カ月

の猶予期間を設けて対応が求められてきました。流失の危険性はどこにもあることを前提に、まだ対応がなされていない場合何にも増して優先した対策を講ずる必要があります。

需要開発においては、今年度も現金還元キャンペーンを実施し、多くの応募をいただいています。1月には当選者も決定されますが、このキャンペーンに関わらず年間を通じた需要開発の取組が必要と思われます。少子高齢化の進展によりガスの需要は伸び悩んでいます。

令和5年度は国の地方創生臨時交付金により消費世帯への料金値引支援事業を実施しましたが、皆様から交付申請された消費者戸数と保険の付保戸数の違いにいささかびっくりしました。保険は稼働していない世帯も含まれていること、保険は見込により多めに付保されている等の事情もありますが、概算払いごとの数字をみても全体的に毎回減少している実態がありました。

今後供給戸数が大きく増加することは期待できませんので、1戸当たりの消費量増加を図りながら省エネ機器の導入により環境対策にも資することが肝要と思われます。

上記で触れた料金値引事業においては会員事業所の96%以上の皆様に参加していただきました。システムの変更、事務処理等相当のご苦労があったかと思いますが、何より消費者の方に喜んでいただいたとの声を多く聞きましたのでその意味では良かったと思います。

本支援事業も継続されるか否か判りませんが、実施された場合全面的なご協力のほどよろしくお願い致します。

カーボンニュートラルへの取組は非常に重要な問題ではありますが、小売り業者ができることは限定的であり、上流側での対応を見守るしかないのも事実です。しかし常に問題意識を持ちながら、自分達ができることから取組むことしか無いと思います。この問題についてはニューリーダー会の取組に期待したいと思います。

今年も様々な動きがあることも予測されますが、会員一丸となって結束、対応し、皆様にとって充実した年になりますよう心から祈念し、年頭のあいさつにさせていただきます。



令和6年 新年のご挨拶

一般社団法人 全国LPガス協会
会長 山田 耕司

あけましておめでとうございます。

令和6年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

新しい年が、LPガス事業者及び関係者の皆様にとって、輝かしい年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、流通面に関しては、ウクライナ情勢等もあり、物価高騰や急激な円安の進行など国民生活や経済活動に大きな影響があった年でした。

そうした状況の中で、LPガス業界では、安定供給に万全を期すとともに、国に対して物価高騰対策等についての折衝や要望を行ってきました。

その結果、物価高騰対策の一環として、LPガスを利用されているお客様の負担軽減を図るため、LPガス料金上昇の抑制に向けた地方創生臨時交付金の活用及び配送業務の効率化に向けた設備導入の支援措置を受けることができました。新年においても、引き続き社会経済情勢等を注視し、その時々課題に対し適切に対応してまいります。

また、取引関係では、国において取引の適正化・料金の透明化の制度改正に向けた検討が行われていることを重く受け止め、新たな制度の下でお客様に選ばれるエネルギーになるため、取引の適正化・料金の透明化の徹底を図ってまいります。

保安面に関しては、5年計画で推進しています「LPガス安心サポート推進運動」が、3年目となります。

その中で、全国目標に掲げております、年平均での死亡事故1件未満及び人身事故25件未満の達成に向け、都道府県LPガス協会が中心となり、LPガス販売事業者と連携を密にし、取り組んでいただいておりますので、引き続き、お客様にLPガスを安全・安心にご使用いただくため、ご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。

需要拡大面に関しては、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、CO₂削減に有効な高効率機器のエネルギーファーム・エコジョーズ・ハイブリッド給湯器・GHP等の販売推進及びLPガスの配送合理化・LPWAの推進、

並びに都道府県LPガス協会が実施する需要開発推進運動の協力を行っていくとともに、元売りやガス機器メーカー等と連携して、グリーントランスフォーメーション(GX)に向けた対応を図ってまいります。

また、全国の公立小中学校の特別教室及び避難所となる体育館等にLPガスによるGHP空調の普及、並びに公的避難所・医療施設・福祉施設等の防災拠点等に、LPガスの常設・常用を推進していくことが肝要となりますので、引き続き都道府県LPガス協会を中心に、地方自治体への働きかけをお願いいたします。

LPガススタンドに関しては、全国のLPガススタンドのインフラ網を維持するため、災害時にも活躍する「LPガス自動車の普及促進」の一環として、行政機関・輸送会社等に対して、災害時やエネルギーセキュリティー面からもLPガス自動車の一定割合の導入促進や主要ユーザーであるタクシー業界へカーボンニュートラル対策も含めた導入促進のためのパンフレットを作成いたしますので、それらを活用し、引き続き働きかけを行ってまいります。

以上の他にも、LPガス業界として取り組んでいくべき課題は多数ありますが、お客様に選ばれるエネルギーになるために、課題解決に向けて邁進してまいりますのでございます。

つきましては、本年も皆様より、一層のご理解・ご支援をお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご多幸、並びに事業のご繁栄を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

鹿児島県危機管理防災局消防保安課
課長 坂野 博志

令和6年の年頭に当たり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県LPGガス協会の会員の皆様には、日頃からLPGガスに係る保安行政の推進に多大な御協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年、7月に九州北部や東北地方等において、線状降水帯等による記録的な大雨により河川の氾濫や土砂災害が相次ぎ、広い範囲で甚大な被害が発生しました。

本県においても、6月下旬から7月上旬にかけて奄美地方や県本土において活発な梅雨前線の影響による大雨が発生したほか、8月には台風第6号が接近し、県内の広い範囲で道路等の公共土木施設などの被害が発生しました。

本県は、台風の常襲県であるとともに、多くの活火山を有しており、極めて厳しい自然条件のもと、いつ、どこで大規模災害が発生するか分からない状況にあります。

県民生活に大きな影響を及ぼす大規模災害発生時には、多くの機関との連携が不可欠ですが、貴協会と本県との間で締結された「災害時におけるLPGガス供給に関する協定」に基づき、今後、災害が発生した際は、この被災者の支援活動ができるように、貴協会との連携を一層深めていきたいと考えております。

昨年は、県内で3件のLPGガスの事故が発生しましたが、このような状況を踏まえ、県としましては、立入検査や各種講習会等により、法令遵守や組織内のリスク管理の徹底、事故防止対策について改めて注意喚起を行ったところです。

また、関係者のたゆまぬ努力の結果、死亡事故や人身事故のような重大な事故については着実に改善が見られ、低

い水準まで低減が図られてきましたが、未だ重大な事故の撲滅には至っておらず、安全・安心に対する社会の要求はますます高まっています。

これらを踏まえ、国においては、今後10年間を見据えた総合的なガスの保安対策として、「液化石油ガス安全高度化計画2030」を策定したところです。

この計画では、2030年時点で年間の死亡事故件数1件未満、人身事故25件未満の達成が高度化指標として位置付けられており、その目標達成に向けたアクションプランとして、「消費者起因事故対策」、「販売事業者起因事故対策」、「自然災害対策」、「保安基盤の整備」の4つを柱に、それぞれの分野で具体的な取組を実施し、更なる保安の向上を図ることとしています。

また昨年には、LPGガスの料金透明化、取引適正化を図るため、無償貸与等の商慣行、賃貸集合住宅におけるLPGガス料金の事前不開示等の課題解消に向けた、国のワーキンググループにおいて、「LPGガス事業者による過大な営業行為の制限」や、「ガス消費と関係のない設備の費用をLPGガス料金に計上することの禁止」等の液化石油ガス法に係る制度見直しの方向性が示されたところです。

会員の皆様におかれましては、液化石油ガスが今後とも一般消費者から選択されるエネルギーとなるため、法律の遵守はもとより、今一度自らの保安活動について適宜見直すなど、今年も引き続き保安の確保に万全を期して下さるようお願いいたします。

結びに、貴協会の今後ますますの御発展と会員の皆様の御繁栄、御健勝を心から祈念いたしまして新年の挨拶いたします。





新年のごあいさつ

鹿児島県消防長会
会長 松下 剛

令和6年の輝かしい新春を迎え、鹿児島県LPガス協会会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。

貴協会におかれましては、日頃からLPガスの安定供給と保安の確保にご尽力されておりますことに深く敬意を表しますとともに、本県消防行政の推進に格別のご支援とご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

さて、今年度の災害を振り返りますと、最大震度6強を観測した石川県能登地方を震源とする地震をはじめ、梅雨前線や台風の影響により洪水や土砂災害が発生し、全国各地で尊い人命と貴重な財産が失われました。いまや災害はどこで発生してもおかしくない状況であり、一層の緊張感をもって大規模災害に備える必要があると改めて認識したところでございます。

このように自然災害が大規模化・頻発化する中、県民の防災への関心はますます高まっています。私たちも地域に最も身近な防災機関として、県民の皆様が引き続き安心して暮らせるように、県内消防の相互応援や緊急消防援助隊の連携強化、消防団や自主防災組織の充実強化をはじめ、火災予防対策の推進、消防防災分野における女性の活躍推進など、消防力の強化に取り組んでいるところでございます。

一方、ここ数年における全国のLPガスに係る事故の発生状況を見てみますと、年間200件前後で推移しており、この中には、利用者が重傷を負う爆発火災事故も発生しております。このように、皆様が取り扱うガスは、社会基盤を支える上で必要不可欠なものでございますが、ひとたび事故が発生すると、人命に関わる危険性を孕んでおり、その安全対策は極めて重要でありますので、引き続きLPガスの保安体制に万全を期していただきますようお願い申し上げます。

鹿児島県消防長会といたしましても、貴協会と緊密な連携を図り、万一事故が発生した場合の被害の拡大防止に向けて、迅速・適切に対応できるよう、精力的に取り組んでまいりますので、今後とも、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈りするとともに、本年が事故・災害のない良い年になることを切に願い、新年のご挨拶といたします。

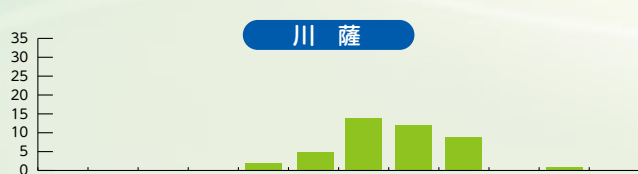
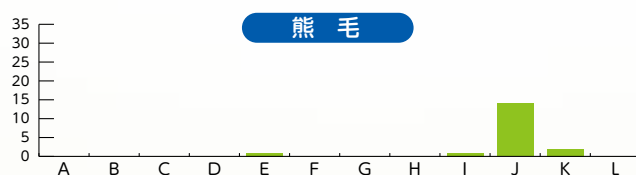
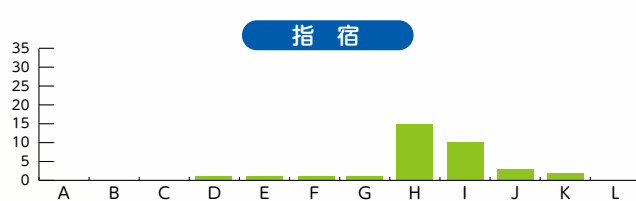
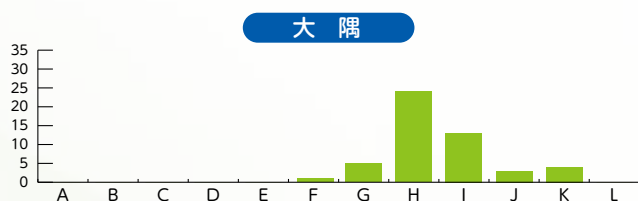
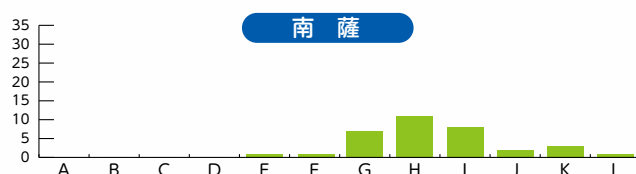
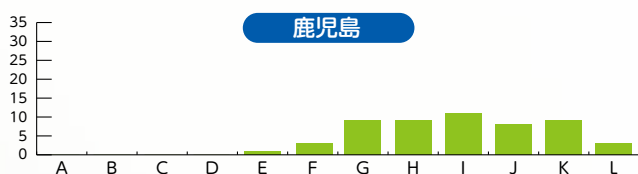
料金アンケート結果について

昨年9月時点を対象に実施している「令和5年度LPGガス料金アンケート」の結果がまとまりました。一般住宅と集合住宅毎に、基本料金、5㎡、10㎡、15㎡の価格（いずれも税込）を掲載しています。

平成29年の法令改正や取引適正化ガイドラインを遵守し、今年も料金の透明化をより一層図ってくださるようお願いいたします。

戸建住宅 2023年9月時点 (基本料金 税込み価格)

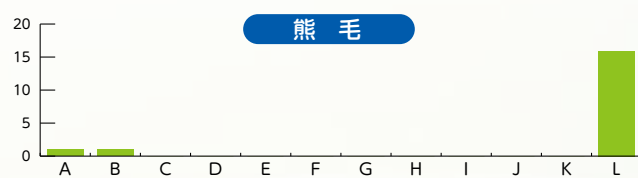
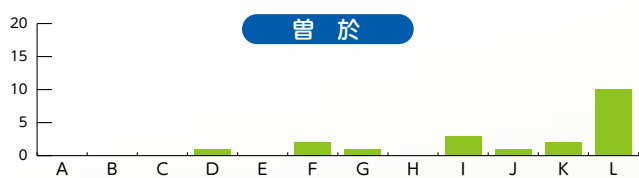
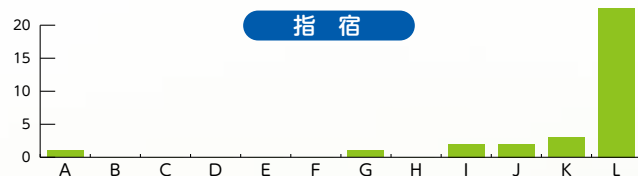
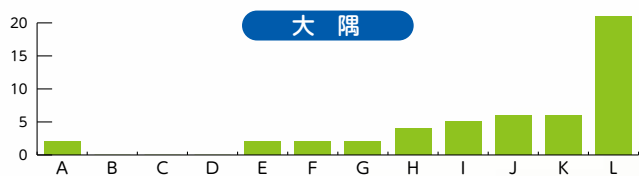
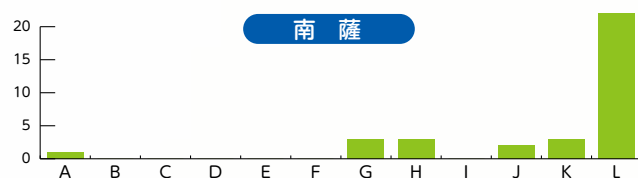
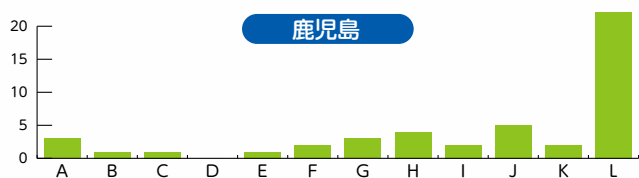
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
1,000 未満	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000 ~ 1,100	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,100 ~ 1,200	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,200 ~ 1,300	D	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4
1,300 ~ 1,400	E	1	0	1	2	1	2	1	1	1	0	10
1,400 ~ 1,500	F	3	1	0	3	0	5	1	1	0	2	16
1,500 ~ 1,600	G	9	5	0	6	7	14	7	1	0	4	53
1,600 ~ 1,700	H	9	24	14	7	10	12	11	15	0	1	103
1,700 ~ 1,800	I	11	13	3	9	17	9	8	10	1	13	94
1,800 ~ 1,900	J	8	3	2	4	2	0	2	3	14	1	39
1,900 ~ 2,000	K	9	4	0	10	2	1	3	2	2	2	35
2,000 ~	L	3	0	0	0	0	0	1	0	0	5	9
計		53	50	20	43	40	43	34	34	18	28	363



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれA～Lのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

戸建住宅 2023年9月時点 (5㎡ 税込み価格)

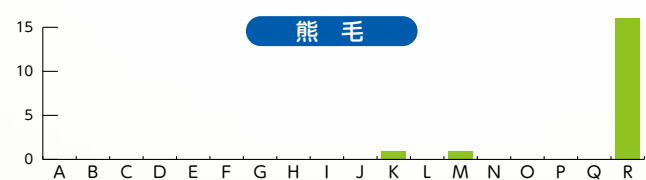
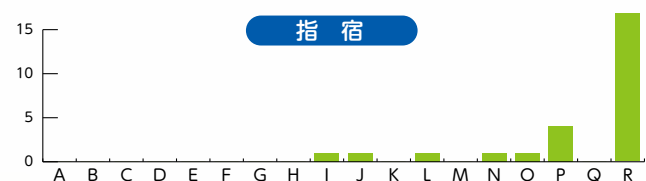
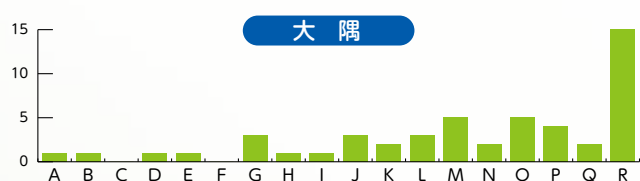
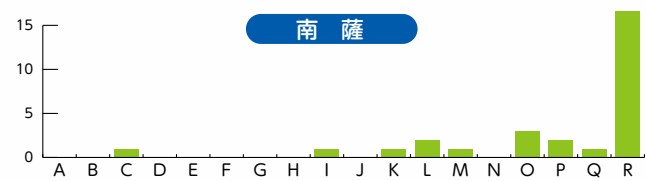
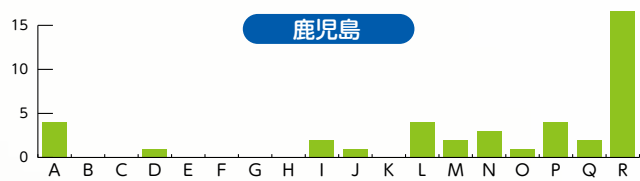
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
4,200 未満	A	3	2	0	2	1	4	1	1	1	0	15
4,200 ~ 4,300	B	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3
4,300 ~ 4,400	C	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
4,400 ~ 4,500	D	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	4
4,500 ~ 4,600	E	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5
4,600 ~ 4,700	F	2	2	2	2	0	1	0	0	0	0	9
4,700 ~ 4,800	G	3	2	1	2	0	1	3	1	0	0	13
4,800 ~ 4,900	H	4	4	0	0	1	1	3	0	0	3	16
4,900 ~ 5,000	I	2	5	3	1	0	2	0	2	0	1	16
5,000 ~ 5,100	J	5	6	1	3	5	2	2	2	0	1	27
5,100 ~ 5,200	K	2	6	2	6	5	7	3	3	0	1	35
5,200 ~	L	29	21	10	23	27	22	22	25	16	22	217
計		53	50	20	43	40	43	34	34	18	28	363



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれ A～L のアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

戸建住宅 2023年9月時点 (10㎡ 税込み価格)

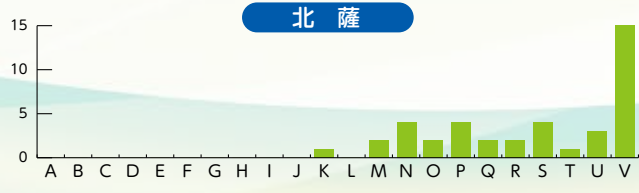
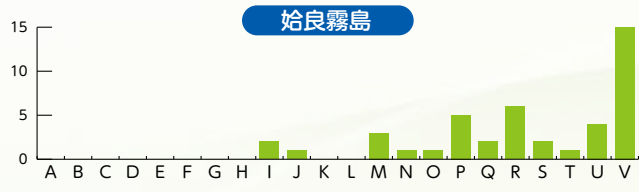
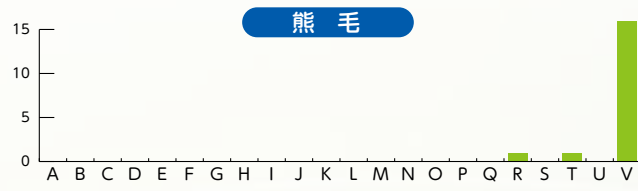
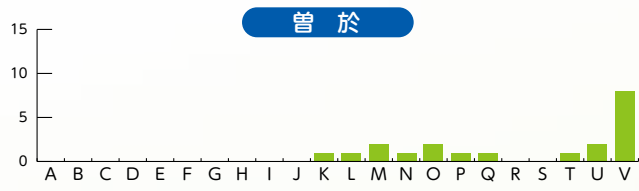
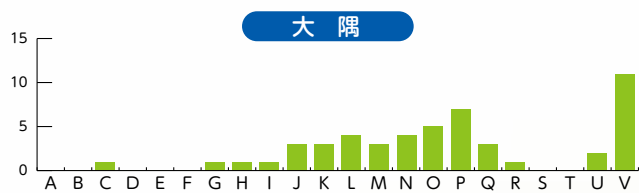
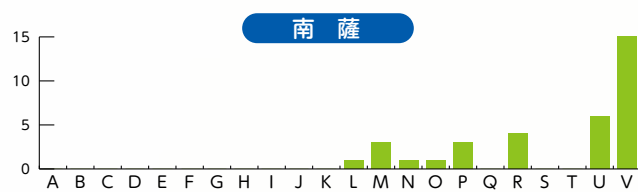
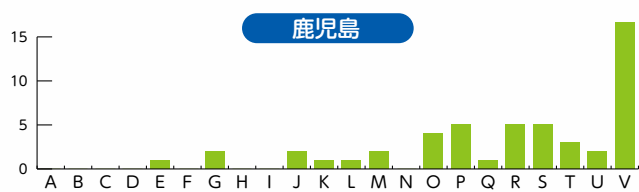
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
6,800 未満	A	4	1	0	0	0	3	0	0	0	0	8
6,800 ~ 6,900	B	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4
6,900 ~ 7,000	C	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
7,000 ~ 7,100	D	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
7,100 ~ 7,200	E	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
7,200 ~ 7,300	F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7,300 ~ 7,400	G	0	3	0	0	1	1	0	0	0	0	5
7,400 ~ 7,500	H	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
7,500 ~ 7,600	I	2	1	0	4	0	1	1	1	0	1	11
7,600 ~ 7,700	J	1	3	2	0	0	0	0	1	0	0	7
7,700 ~ 7,800	K	0	2	2	0	1	0	1	0	1	1	8
7,800 ~ 7,900	L	4	3	1	1	0	1	2	1	0	1	14
7,900 ~ 8,000	M	2	5	0	0	3	2	1	0	1	0	14
8,000 ~ 8,100	N	3	2	0	1	3	3	0	1	0	0	13
8,100 ~ 8,200	O	1	5	2	2	2	2	3	1	0	0	18
8,200 ~ 8,300	P	4	4	1	4	3	4	2	4	0	1	27
8,300 ~ 8,400	Q	2	2	0	3	0	1	1	0	0	0	9
8,400 ~	R	29	15	11	26	26	23	22	25	16	24	217
計		53	50	20	43	40	43	34	34	18	28	363



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれ A ~ R のアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

戸建住宅 2023年9月時点 (15㎡ 税込み価格)

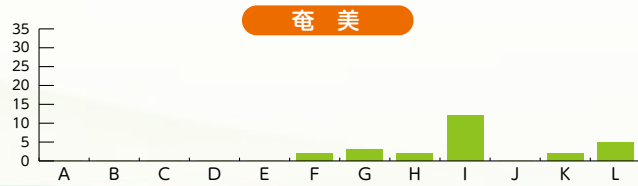
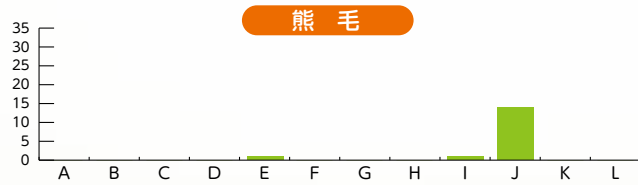
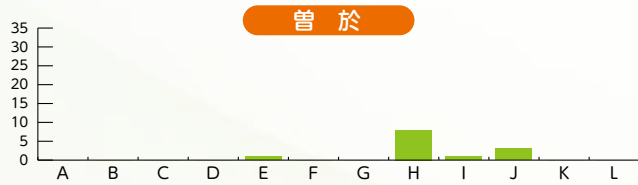
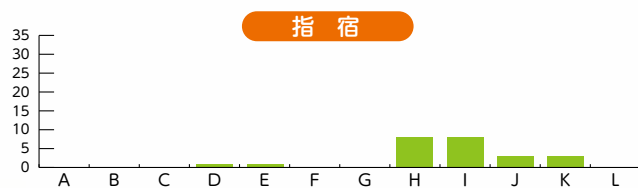
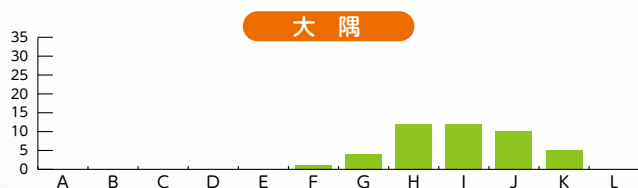
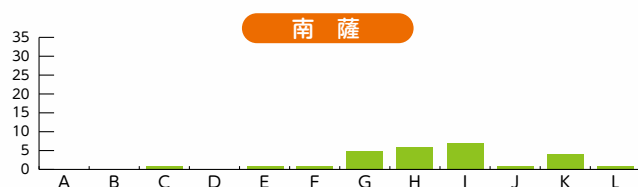
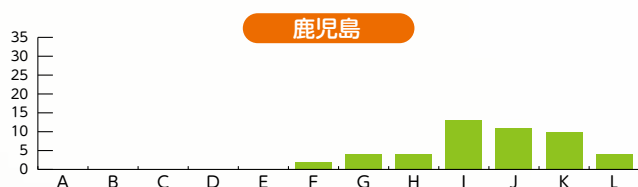
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
8,000 未満	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,000 ~ 8,200	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,200 ~ 8,400	C	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8,400 ~ 8,600	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,600 ~ 8,800	E	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8,800 ~ 9,000	F	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9,000 ~ 9,200	G	2	1	0	0	0	2	0	0	0	0	5
9,200 ~ 9,400	H	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
9,400 ~ 9,600	I	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	5
9,600 ~ 9,800	J	2	3	0	1	0	0	0	0	0	0	6
9,800 ~ 10,000	K	1	3	1	0	1	3	0	0	0	0	9
10,000 ~ 10,200	L	1	4	1	0	0	0	1	0	0	0	7
10,200 ~ 10,400	M	2	3	2	3	2	0	3	1	0	1	17
10,400 ~ 10,600	N	0	4	1	1	4	1	1	1	0	1	14
10,600 ~ 10,800	O	4	5	2	1	2	1	1	0	0	1	17
10,800 ~ 11,000	P	5	7	1	5	4	8	3	1	0	0	34
11,000 ~ 11,200	Q	1	3	1	2	2	0	0	4	0	0	13
11,200 ~ 11,400	R	5	1	0	6	2	2	4	3	1	1	25
11,400 ~ 11,600	S	5	0	0	2	4	3	0	1	0	1	16
11,600 ~ 11,800	T	3	0	1	1	1	2	0	1	1	0	10
11,800 ~ 12,000	U	2	2	2	4	3	1	6	7	0	1	28
12,000 ~	V	19	11	8	15	15	18	15	15	16	22	154
計		53	50	20	43	40	43	34	34	18	28	363



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれ A ~ V のアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

集合住宅 2023年9月時点 (基本料金 税込み価格)

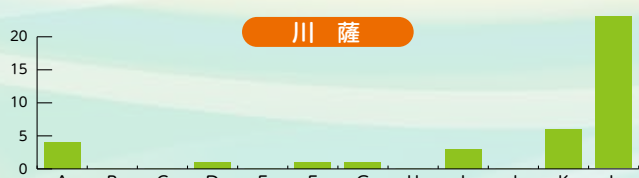
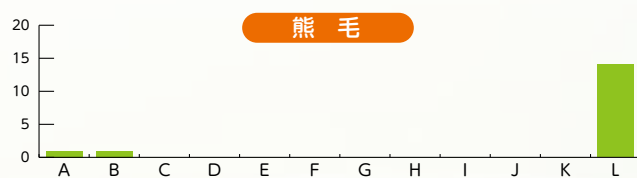
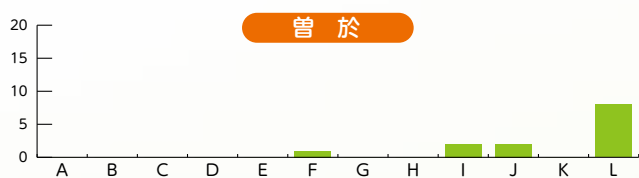
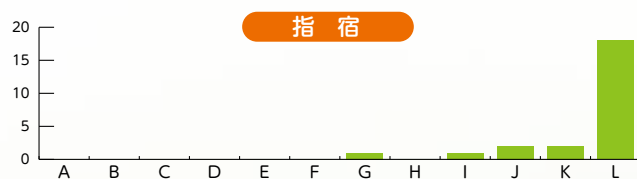
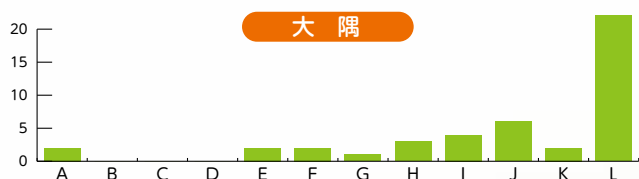
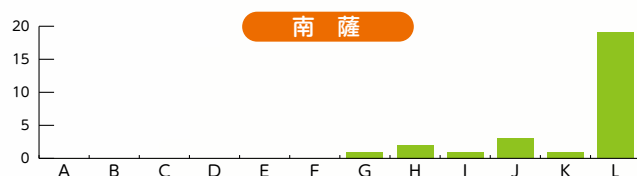
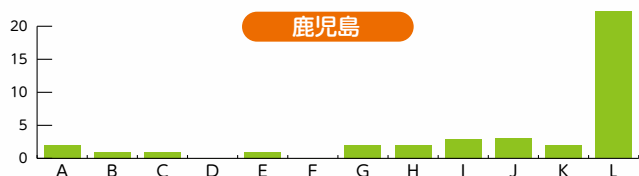
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
1,000 未満	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1,000 ~ 1,100	B	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
1,100 ~ 1,200	C	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
1,200 ~ 1,300	D	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	4
1,300 ~ 1,400	E	0	0	1	1	2	3	1	1	1	0	10
1,400 ~ 1,500	F	2	1	0	3	0	5	1	0	0	2	14
1,500 ~ 1,600	G	4	4	0	4	3	5	5	0	0	3	28
1,600 ~ 1,700	H	4	12	8	9	8	11	6	8	0	2	68
1,700 ~ 1,800	I	13	12	1	5	13	11	7	8	1	12	83
1,800 ~ 1,900	J	11	10	3	4	3	1	1	3	14	0	50
1,900 ~ 2,000	K	10	5	0	9	2	2	4	3	0	2	37
2,000 ~	L	4	0	0	1	0	1	1	0	0	5	12
計		48	44	13	39	33	39	27	24	16	26	309



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれA～Lのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

集合住宅 2023年9月時点 (5㎡ 税込み価格)

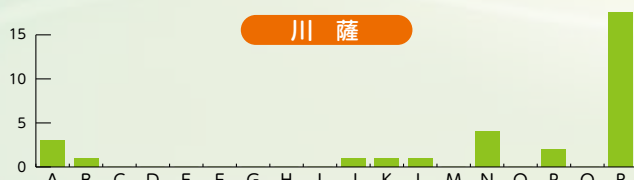
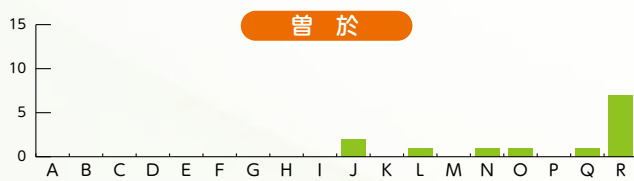
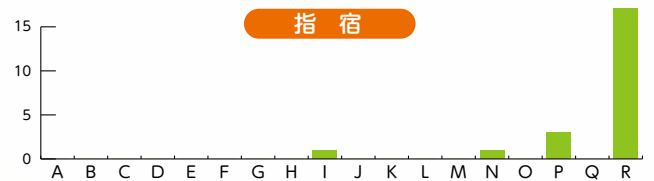
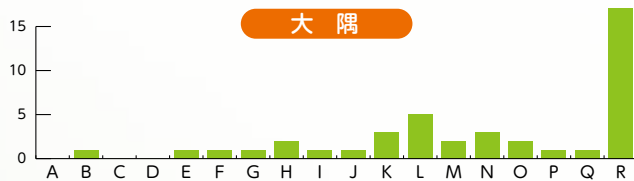
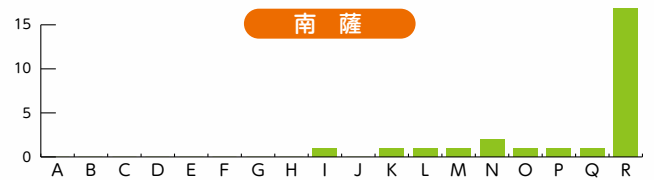
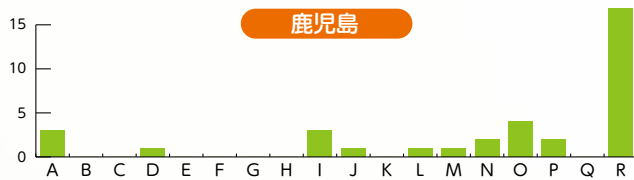
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
4,200 未満	A	2	2	0	3	1	4	0	0	1	0	13
4,200 ~ 4,300	B	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3
4,300 ~ 4,400	C	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
4,400 ~ 4,500	D	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	3
4,500 ~ 4,600	E	1	2	0	2	0	0	0	0	0	0	5
4,600 ~ 4,700	F	0	2	1	0	0	1	0	0	0	0	4
4,700 ~ 4,800	G	2	1	0	2	1	1	1	1	0	0	9
4,800 ~ 4,900	H	2	3	0	0	0	0	2	0	0	3	10
4,900 ~ 5,000	I	3	4	2	2	0	3	1	1	0	1	17
5,000 ~ 5,100	J	3	6	2	1	4	0	3	2	0	1	22
5,100 ~ 5,200	K	2	2	0	4	4	6	1	2	0	0	21
5,200 ~	L	31	22	8	23	21	23	19	18	14	21	200
計		48	44	13	39	33	39	27	24	16	26	309



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれ A～L のアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

集合住宅 2023年9月時点 (10㎡ 税込み価格)

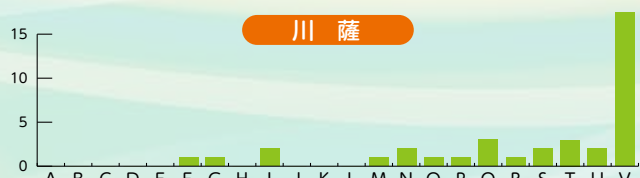
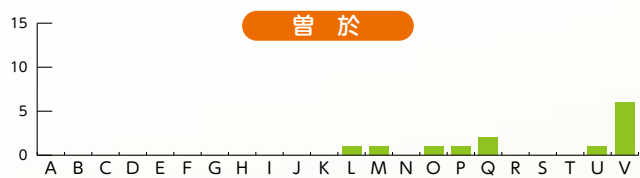
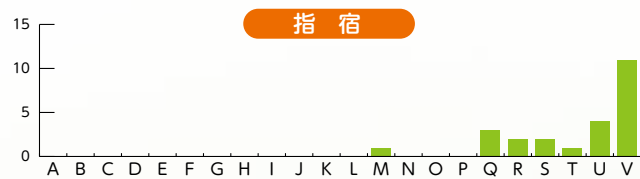
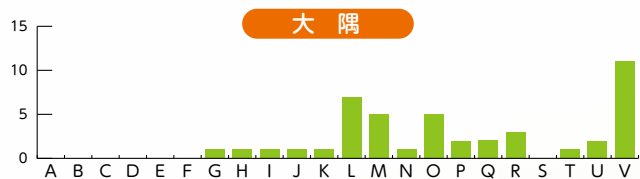
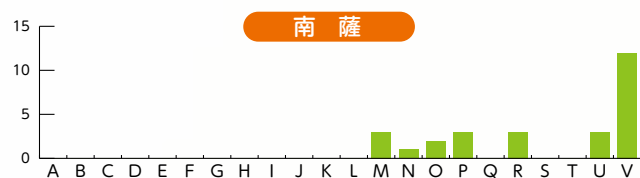
基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
6,800 未満	A	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0	6
6,800 ~ 6,900	B	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	4
6,900 ~ 7,000	C	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
7,000 ~ 7,100	D	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2
7,100 ~ 7,200	E	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
7,200 ~ 7,300	F	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
7,300 ~ 7,400	G	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
7,400 ~ 7,500	H	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
7,500 ~ 7,600	I	3	1	0	2	0	0	1	1	0	1	9
7,600 ~ 7,700	J	1	1	2	1	0	1	0	0	0	0	6
7,700 ~ 7,800	K	0	3	0	0	0	1	1	0	1	1	7
7,800 ~ 7,900	L	1	5	1	1	0	1	1	0	0	1	11
7,900 ~ 8,000	M	1	2	0	0	2	0	1	0	1	0	7
8,000 ~ 8,100	N	2	3	1	1	6	4	2	1	0	0	20
8,100 ~ 8,200	O	4	2	1	1	0	0	1	0	0	0	9
8,200 ~ 8,300	P	2	1	0	0	2	2	1	3	0	1	12
8,300 ~ 8,400	Q	0	1	1	3	0	0	1	0	0	0	6
8,400 ~	R	30	19	7	26	20	26	18	19	14	22	201
計		48	44	13	39	33	39	27	24	16	26	309



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれA～Rのアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

集合住宅 2023年9月時点 (15㎡ 税込み価格)

基本料金税込価格 (円)		鹿児島	大隅	曾於	始良霧島	北薩	川薩	南薩	指宿	熊毛	奄美	県全体
8,000 未満	A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,000 ~ 8,200	B	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,200 ~ 8,400	C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,400 ~ 8,600	D	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8,600 ~ 8,800	E	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8,800 ~ 9,000	F	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
9,000 ~ 9,200	G	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
9,200 ~ 9,400	H	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
9,400 ~ 9,600	I	0	1	0	2	0	2	0	0	0	0	5
9,600 ~ 9,800	J	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
9,800 ~ 10,000	K	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	4
10,000 ~ 10,200	L	0	7	1	0	1	0	0	0	0	0	9
10,200 ~ 10,400	M	3	5	1	3	1	1	3	1	0	1	19
10,400 ~ 10,600	N	0	1	0	1	4	2	1	0	0	1	10
10,600 ~ 10,800	O	0	5	1	1	2	1	2	0	0	2	14
10,800 ~ 11,000	P	4	2	1	3	2	1	3	0	0	0	16
11,000 ~ 11,200	Q	4	2	2	2	2	3	0	3	0	0	18
11,200 ~ 11,400	R	3	3	0	3	2	1	3	2	1	1	19
11,400 ~ 11,600	S	0	0	0	2	3	2	0	2	0	0	9
11,600 ~ 11,800	T	3	1	0	2	1	3	0	1	1	0	12
11,800 ~ 12,000	U	2	2	1	3	1	2	3	4	0	1	19
12,000 ~	V	24	11	6	16	12	19	12	11	14	20	145
計		48	44	13	39	33	39	27	24	16	26	309



(表の見方)
上記表中の料金区分は、それぞれ A～V のアルファベットで分類して棒グラフに表示してあります。

令和5年度国家試験受験者率について

本年度の国家試験は、令和5年11月12日（日）に鹿児島国際大学及び大島支庁の2会場で実施され、このたび受験者率の結果が以下の通りとなりました。

試験の種類	受験申込者数	受験者数	受験者内訳		最終受験率	欠席者数	全科目免除 及び筆記免除
			鹿児島市	奄美市			
乙種化学	15	12	12	0	80.0%	3	
丙種化学（液石）	108	97	85	12	89.8%	11	
丙種化学（特別）	39	39	39	0	100.0%	0	
乙種機械	47	39	39	0	83.0%	8	
第二種冷凍機械	56	45	45	0	80.4%	11	
第三種冷凍機械	176	153	148	5	86.9%	23	
第一種販売	32	28	26	2	87.5%	4	
第二種販売	217	203	190	13	93.5%	14	4
設備士	24	24	24	0	100.0%	0	2
合計	714	640	608	32	89.6%	74	6

【参考】

- ①液化石油ガス設備士筆記試験の可否は11月24日（金）に発表され、上記24人の受験者のうち、5人が合格。
 昨年の受験者2人を含む7人の技能試験は、12月3日（日）に実施された。
 ※合格発表日は設備士以外の試験が令和5年12月22日（金）、設備士試験が令和6年1月5日（金）
- ②各会場の受験率は次のとおり。
 鹿児島会場……………90.1%
 奄美会場……………82.1%
- ③総申込者数……………720人
 全科目免除 4人（第二種販売）・設備士筆記免除 2人含む



令和5年度 LPガス消費者世帯等支援事業の実施状況について

国の地方創生臨時交付金を受けて鹿児島県が実施した標記事業には会員事業所の多くの方に参加いただきました。事業所割で96%、消費者割で99%超という数字になり、鹿児島県水産商工労働部からも高い評価をいただいています。

LPガス消費者への物価高騰対策支援という目的で国の補正予算により7,000億円が手当され、鹿児島県には約70億円の交付金が配分されたと聞いています。

県では約27億円をLPガス使用世帯への支援に使用されることとなったため、協会がこの業務を受託して実施することになりました。

事業は8月使用分から11月使用分を対象に月額1,350円（税別）を支援する内容でした。1世帯当たり総額5,400円という数字は全国的にも上位の金額であり、事業者の皆様を通じて聞こえてくる消費者からの声も「ありがたい」「継続して欲しい」という声が多くありました。

一方会員事業所の方からも次のような話を聞きました。

○ガス事業を永年実施してきたが、お客様からこんなに感謝されたのは初めて。

○ガス配送に行くと普段は外に出てこないお客様が話しかけてきて通常より配送に時間がかかった（でもうれしかった）

事業者の皆様にはシステムの改修、諸準備等大変なご苦労があったことも重々承知しておりますが、お客様の声を聞くと実施してよかったと思います。ただ、事業者の皆様にくらかでも手数料があればなお良かったのですが、鹿児島県は認めてくれませんでしたので次回の課題かと思えます。

県以外の地方自治体においても支援金があるようですが、可能であれば参加方よろしく願います。



2024年2月1日よりテールゲートリフター特別教育が義務化

テールゲートリフター特別教育(学科)

Zoomによるオンライン教育

全国での「特別教育」受講が可能です

講習料：**8,800円/人**（税込）

<本特別教育のポイント>

- ・受講対象者：テールゲートリフトの操作を行う方全員
 ※労働安全衛生法では白、緑ナンバーの区別はありません
- ・特別教育実施後、事業主は受講記録を3年間保管



<特別教育の実施内容>

科目	実施内容	時間
テールゲートリフトに関する知識	テールゲートリフターの種類・構造 ・テールゲートリフターの取り扱い方法 ・テールゲートリフターの点検及び整備の方法	1.5時間
テールゲートリフトの作業に関する知識	・テールゲートリフターの荷及び台車の種類と取扱いの方法 ・テールゲートリフター使用時の労働災害の特徴	2時間
関係法令	労働安全衛生法、衛生規則中の関係法令	0.5時間
テールゲートリフトの操作方法（実技）	保護具の着用 ・作業開始前点検 ・テールゲートリフターの操作方法	2時間

※特別教育は、学科4時間及び実技2時間を行うものとなっており、弊社では学科教育4時間のみを上記赤枠のとおり実施いたします。実技教育は、各社使用するテールゲートリフトを使用して操作方法、点検方法等を2時間で教育をおこなってください。

弊社では「陸上貨物運送事業労働災害防止協会」が行う、「インストラクター養成講習」を受講した講師によるテールゲートリフター特別教育を行います。

※労働安全衛生法違反

特別教育が必要な作業者にその教育を実施していない作業者を就業させた場合、罰則（6ヶ月以下の懲役または50万円以下の罰金）が適用される場合があります。

テールゲートリフター特別教育のご予約はこちらから▶

ヤマトテールゲート 検索



 ヤマト・スタッフ・サプライ

テールゲートリフター特別教育 学科スケジュール

開講時間 ①9:00～13:30 (休憩含む)

②13:00～17:30 (休憩含む)

午前、午後のご都合の良いお時間が選択できます。
※特別教育終了後に受講者名で修了証を郵送にてお送りいたします。

開催月	Zoom特別教育開催日				
12月	1日(金)②	3日(日)②	4日(月)①	5日(火)②	6日(水)①
	7日(木)②	8日(金)①	11日(月)①	12日(火)①	13日(水)①
	14日(木)②	15日(金)①	16日(土)②	18日(月)①	19日(火)①
	20日(水)①	21日(木)②	22日(金)②	23日(土)②	24日(日)②
	25日(月)②	26日(火)②	27日(水)①		
1月	8日(月)②	9日(火)①	10日(水)①	12日(金)②	15日(月)①
	16日(火)①	17日(水)①②	19日(金)②	21日(日)②	23日(火)①
	24日(水)①	25日(木)①	26日(金)②	27日(土)①	29日(月)②
	30日(火)①②				

※上記日程は都合により変更となる場合がございます。HPより最新情報をご確認ください。

各研修センターでは運転適性診断、運行管理者等指導講習運行管理者試験対策講座、衛生管理者試験対策講座もご用意しております。
(対策講座にはオンライン商品もご用意しております)

◎令和5年度第2回運行管理者試験情報

～第2回運行管理者試験～ 2月16日～3月17日

YSSの運行管理者試験対策講座

Zoom講座、対面講座 12月中旬より受付開始

第1回受講者合格率 **63.5%**

※集中講座+実践講座受講の方の合格率



特別教育、その他講習のご予約はこちら▶▶

<https://reserv.y-staffsupply.co.jp/safety/>



 ヤマト・スタッフ・サプライ

